

# 妊娠と風疹について

## 知っていただけますか？

妊娠中には、母体のため、そしてお腹にいる子どものため普段以上の体調管理が必要となります。今回は妊娠中にかかってしまったら、大切なお腹の子どもに影響を及ぼす可能性が高い、病気「風疹」についてご紹介します。



1 風疹ウイルスは妊娠にどんな影響があるのでしょうか？

妊娠初期に風疹ウイルスに感染すると、胎盤を通してお腹の赤ちゃんに感染し、先天性風疹症候群という病気を起こすことがあります。この病気は、難聴、眼症状（白内障、緑内障、色素性網膜症）、



先天性心疾患を主な症状とします。妊娠の早い週数であるほど、胎児の症状は重く、妊娠5ヶ月（20週）までは症状がでる可能性があります。

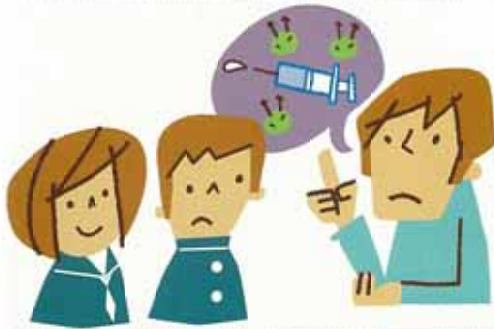
2 どうしたら感染するの？

飛沫経気道感染です。つまり、風疹にかかった人のそばに行くと、空気感染します。

3 風疹の免疫（抗体）をもっていないひとが増えています

先天性風疹症候群を予防するため、1977年から女

子中学生へ予防接種を行ってきましたが、1995年4月から男女とも幼児期に1回、中学生で1回個別に接種を行うことになり、抗体をもっていない若いひとが増えています。免疫のないひとが妊娠すると先天性風疹症候群



の危険があるため、問題になってきているのです。

4 風疹の免疫があるかどうかは血液検査でわかります

一般には風疹の免疫があるかどうか、HI抗体を調べますが、この値が高ければ最近感染したかどうかをみるために、もっと詳しいIgM抗体とIgG抗体を調べます。妊娠する前に、感染したのであれば、心配することはありません。もし妊娠初期に抗体を調べて風疹に対する免疫がないとわかったら、できるだけ感染しないように注意しましょう。風疹の症

5 妊娠前に「抗体（免疫）ができていますかどうか」を調べましょう！

状は、発疹、発熱、リンパ節腫脹ですが、症状がでない不顕性感染であっても胎児に影響することがあります。分娩したら、次の妊娠のことを考えて、予防接種を受けるようにしましょう。予防接種は生ワクチンですから、接種して3ヶ月間は避妊をしましょう。

よう。  
妊娠の可能性がある人、妊娠を希望している人は、風疹に対する免疫があるかどうかを調べておくことが大切です。免疫があるかどうかは、先に記しました「抗体検査」によって調べることができ、まず「抗体検査」は各医療機関で受けることができますので、忘れずに検査を受けてください。もし免疫がなければ、風疹ワクチンの接種を受けましょう。

